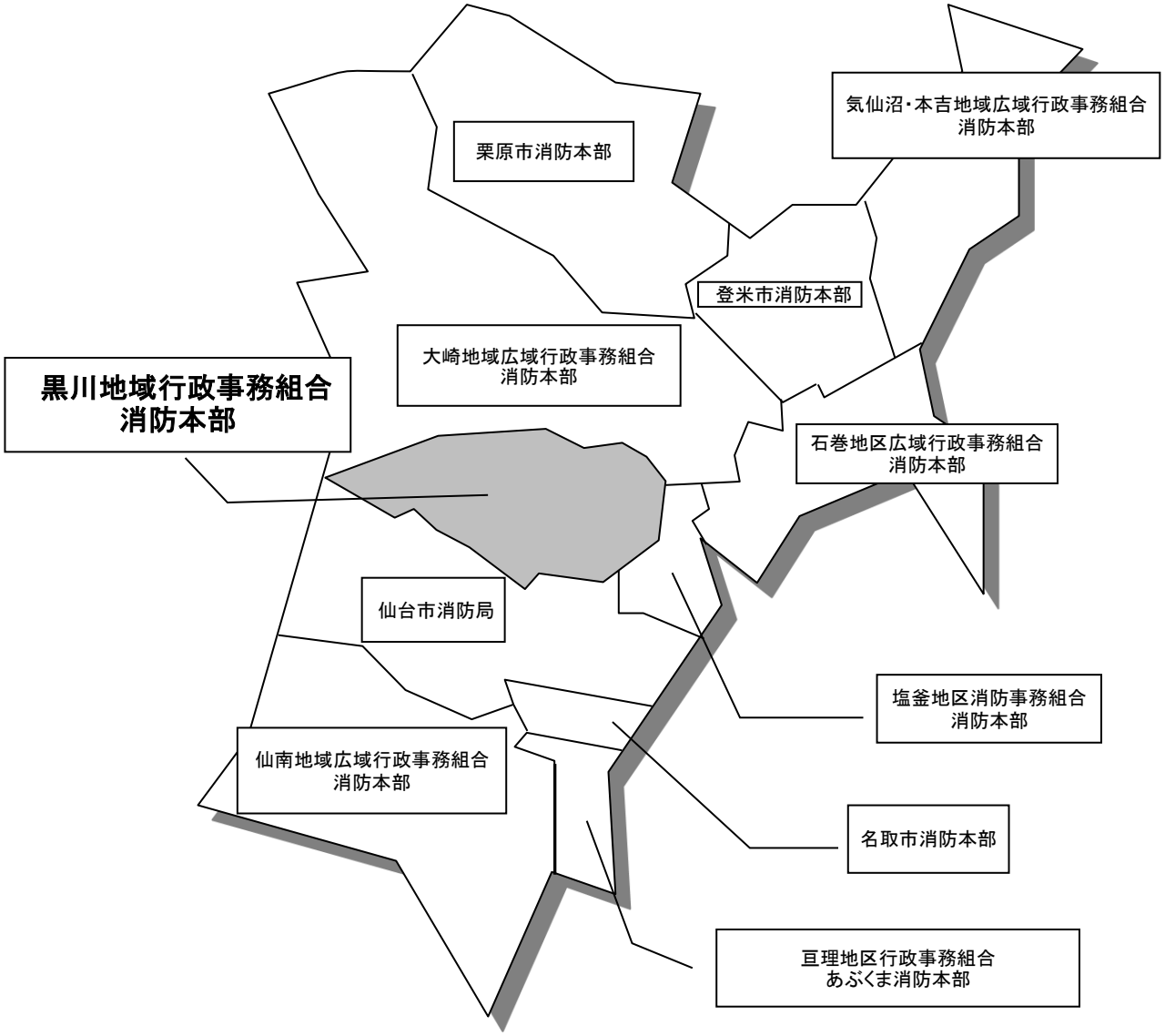
総　　務

高校生によるインターンシップ

黒川地域行政事務組合管轄区域図

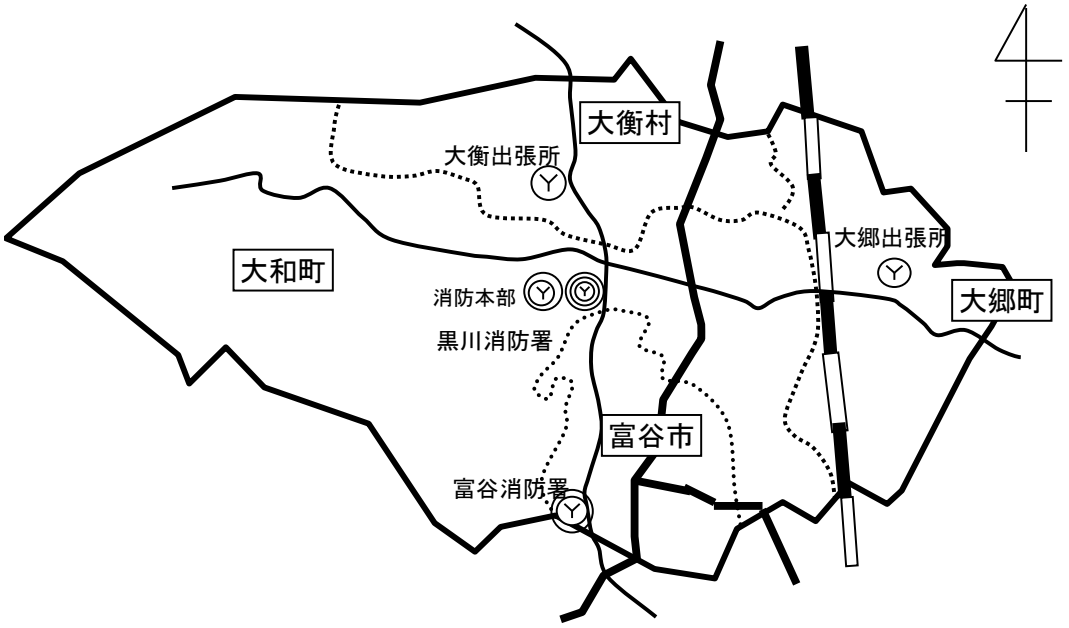


消　防　機　関　の　位　置

管内面積及び世帯数・人口

（平成３１年３月末現在）

区　　分	面積（km²）	世帯数	人口（人）
富　谷　市	49.18	19,252	52,521
大　和　町	225.49	11,776	28,467
大　郷　町	82.01	2,794	8,089
大　衡　村	60.32	2,108	5,992
計	417.00	35,930	95,069



消防本部・署所の所在地

所　　属	所　　在　　地	電　話　番　号
消　防　本　部	黒川郡大和町吉田字北谷地１２番地	022（345）4161
黒　川　消　防　署	黒川郡大和町吉田字北谷地１２番地	022（345）4161
大郷出張所	黒川郡大郷町中村字東要害１１番地の６	022（359）3150
大衡出張所	黒川郡大衡村大衡字一本木２１番地２０	022（345）0900
富　谷　消　防　署	富谷市富ケ丘一丁目２０番１号	022（358）5474

１．黒川消防の沿革

昭和46年 10月 14日 黒川地区消防事務組合設立

昭和47年 3月 7日 消防職員定数「37名」に制定
4月 15日 政令指定を受ける
9月 1日 消防本部設置（大和町役場内）
9月 20日 職員1名採用
12月 1日 職員8名採用

昭和48年 1月 8日 職員1名採用
3月 9日 消防ポンプ車1台購入
3月 16日 職員2名採用
3月 20日 職員8名採用
3月 20日 消防専用無線開局
3月 29日 指令車1台、救急自動車1台購入
3月 31日 消防庁舎落成開庁、消防業務開始
（指令車1台、ポンプ車1台、救急車1台、職員20名）
消防長に管理者大和町長浅野多一郎氏就任
4月 1日 職員2名採用
4月 1日 消防相互応援協定を締結（１市５町2組合１団体）
8月 1日 救急業務開始、救急専用無線開局、職員10名採用
11月 20日 水槽付きポンプ自動車１台購入配置
12月 1日 職員2名採用

昭和49年 3月 30日 救急指令装置新設工事落成
4月 1日 職員2名採用総員36名

昭和50年 4月 1日 職員2名採用、消防特別救助隊発足（11名）
9月 5日 消防職員定数「44名」に改正

昭和51年 4月 1日 職員7名採用総員44名
4月 11日 黒川消防発足３周年記念式典挙行
5月 13日 消防連絡車１台、小型動力ポンプ１台購入配置
9月 6日 消防職員定数「51名」に改正
9月 18日 日本損害保険協会より消防ポンプ車１台寄贈を受ける
10月 20日 黒川消防署大郷出張所落成開庁
（ポンプ車1台、職員6名）
12月 9日 東北自動車道供用に伴う救急業務開始

昭和52年 4月 1日 職員6名採用総員50名
6月 25日 消防指令車を購入（更新）本部に設置
7月 15日 整備庫工事完成
12月 20日 救助工作車1台購入本署に配置
12月 20日 訓練塔工事完成

昭和53年 2月 10日 消防職員定数「60名」に改正
4月 1日 職員4名採用総員54名
4月 23日 黒川消防発足5周年記念式典挙行
5月 10日 消防査察車1台購入本署に配置
5月 30日 補助訓練塔工事完成
6月 9日 消防ポンプ自動車1台購入本署に配置
6月 12日 宮城県沖地震（マグニチュード7.4）
11月 30日 屋内洗車場工事完成

昭和54年 2月 1日 黒川消防音楽隊発足（22名）
2月 1日 消防本部旗制定
2月 13日 消防職員定数「70名」に改正
4月 1日 消防長に菅原敏夫氏就任、職員4名採用

昭和54年　5月　7日 消防広報車1台購入本署に配置
　　6月 30日 消防ポンプ自動車1台購入本署に配置
　　11月 30日 消防庁舎北側増築工事完成

昭和55年　4月　1日 職員5名採用総員63名
　　5月 25日 高田訓練場整備完了
　　9月　2日 水槽付きポンプ自動車1台購入本署に配置
　　10月　1日 黒川消防署富谷出張所落成開庁
　　（水槽付きポンプ自動車1台、職員6名）
　　11月　5日 日本防火協会より防火広報車1台寄贈を受け本署に配置

昭和56年 ４月 １日 職員3名採用総員65名
　　４月 28日 消防連絡車1台購入大郷出張所に配置
　　４月 30日 ポンプ積載車1台購入本署に配置

昭和57年 ２月 １日 救急車1台購入（更新）本署に配置
　　４月 １日 職員2名採用総員67名
　　４月 ３日 職員1名採用総員68名

昭和58年 １月 31日 消防ポンプ自動車1台購入（更新）本署に配置
　　４月 １日 職員3名採用総員71名
　　４月 27日 仙台北部で大規模な林野火災発生
　　～ 28日 当管内富谷町、大和町で防ぎょ活動
　　8月 30日 日本消防協会より広報車1台寄贈を受け本部に配置
　　9月　6日 救急業務用地図等検索装置設置
　　10月 17日 管理者に大和町長木幡恒雄氏就任
　　11月　8日 黒川消防発足10周年記念式典挙行

昭和59年　9月 24日 日本消防協会より救急車1台寄贈（更新）を受け本署に配置

昭和60年　9月 23日 日本損害保険協会より消防ポンプ自動車1台寄贈を受け富谷出張所に配置

昭和61年　4月　1日 消防長に村元敏一氏就任
　　8月　5日 台風10号豪雨洪水被害甚大

昭和62年 11月　1日 東北自動車道宮城県消防相互応援協定を締結（3市4組合）

昭和63年　2月 25日 宮城県共済農業協同組合連合会より救急車1台寄贈（更新）を受け
　　本署に配置
　　3月　7日 黒川消防発足15周年記念式典挙行

平成元年　9月 11日 水槽付きポンプ自動車購入（更新）富谷出張所に配置
　　消防職員定数「75名」に改正
　　11月 15日 消防査察車購入（更新）本署に配置

平成2年　7月 11日 大和町富谷土地整理組合より消防ポンプ自動車1台寄贈（更新）を受
　　け本署に配置
　　9月 12日 日本消防協会より救急車1台寄贈（更新）を受け本署に配置
　　（旧救急車を調査車として本署に配置）
　　9月 28日 日本防火協会より防火広報車1台寄贈（更新）を受け本部に配置
　　12月 20日 消防資材搬送車を購入本署に配置

平成3年　4月　1日 一部事務組合複合化により黒川地域行政事務組合設立
　　4月　1日 職員2名黒川地域行政事務組合総務課に異動
　　4月　1日 職員3名採用総員71名
　　7月 12日 消防指令車購入（更新）
　　7月 17日 積載2号車購入（更新）大郷出張所配置

平成4年　1月 31日 宮城県共済農業協同組合連合会より救急車1台寄贈（更新）を受け
本署に配置
旧車両を指揮車として本署に配置
4月　1日 職員1名採用総員71名
4月　1日 宮城県広域消防相互応援協定を締結（県内12消防本部）
4月　1日 宮城県広域航空消防相互応援協定を締結（県・県内12消防本部）
10月 29日 日本損害保険協会より化学消防ポンプ自動車1台寄贈を受け本署に配置

平成5年　4月　1日 消防緊急通信指令施設更新
4月　1日 職員6名採用総員75名
5月 27日 本部庁舎二階改修工事
6月　3日 消防緊急通信指令施設開設記念式及び祝賀会（黒川消防発足20年）
7月 14日 査察1号車購入（更新）
8月 24日 日本消防協会より携帯無線機5基寄贈を受ける
9月 30日 消防職員定数「105名」に改正
11月 19日 普通ポンプ自動車購入（黒消1号車・更新）大郷出張所配置

平成6年　4月　1日 職員12名採用総員86名
5月 18日 救急救命士第1期生誕生

平成7年　2月　7日 高規格救急自動車1台購入（救急3・更新）
2月 24日 県防災ヘリコプターを使用した大規模特殊災害時における広域航空
消防応援に関する協定を締結（県・県内12消防本部）
3月 28日 大衡出張所庁舎落成式(防災ヘリコプター臨時ヘリポート併設)
4月　1日 大衡出張所業務開始
4月　1日 職員5名採用総員91名
10月 11日 大型水槽1号車購入（増強）

平成8年　4月　1日 職員6名採用総員97名
10月 30日 補助訓練塔移設

平成9年　4月　1日 消防長に菅野裕氏就任
4月　1日 職員3名採用総員100名
12月 22日 高規格救急自動車1台購入（救急1・更新）

平成10年　3月 18日 連絡1号車購入　富谷出張所配置
3月 30日 富谷出張所移転新築庁舎落成式
4月　1日 富谷出張所新庁舎にて業務開始、救急1号車を配置し救急業務開始

平成11年　1月 12日 救助工作車購入（更新）本署に配置
2月 12日 消防広報車購入（更新）本署に配置
4月　1日 消防長に三野宮定夫氏就任
4月　1日 職員3名採用総員102名
9月　9日 第一回救急標語コンクール実施（表彰式）
12月 14日 水槽付きポンプ自動車購入（更新）富谷出張所に配置

平成12年　4月　1日 職員3名採用総員104名
10月　1日 黒川郡東部地域救急支援活動開始
12月 20日 高規格救急自動車購入（更新）

平成13年　4月　1日 消防職員定数「113名」に改正
4月　1日 職員3名採用総員106名
5月 29日 消防連絡車購入（増強）本部に配置

平成14年　4月　1日 職員2名採用総員108名
8月 21日 2002年W杯サッカー　消防・救急警戒により消防庁長官褒状受賞
12月 16日 指揮1号車購入（更新）本署に配置

平成15年　1月 10日 水難救助用ゴムボート・ウエットスーツ配備
3月 30日 大郷出張所移転新築庁舎開所式
4月　1日 消防長に磯部利彦氏就任
4月　1日 大郷出張所新庁舎にて業務開始、救急3号車を配置し救急業務開始
4月　1日 職員1名採用総員108名
7月 26日 宮城県北部連続地震発生（黒消水槽1号車隊2名、給水の為大崎地域へ応援出場）
9月 10日 黒川消防発足30周年記念誌発行

平成16年　1月　5日 県内広域消防応援出動（平成15年7月26日からの宮城県北部連続地震時）に伴い、平成15年度消防庁長官褒状受賞
3月 25日 高規格救急自動車1台購入(救急6号車)　大郷出張所に配置
4月　1日 職員2名採用総員110名
4月　1日 消防組織法に基づく緊急消防援助隊の登録
10月 25日 黒川消防本部第１号気管挿管認定救命士誕生

平成17年　4月　1日 消防長に三野宮定夫氏就任
4月　1日 危機管理担当部署を新たに設置

平成18年　1月 30日 本部庁舎耐震補強工事完了
3月　3日 富谷町上桜木土地区画整理組合より消防ポンプ車（CD-Ⅰ）及び高規格救急車寄贈される
4月　1日 職員2名採用総員111名
4月　1日 機構改革により、通信指令室を指令課に、総務課と警防課を統合して消防課とし、新たな組織体制
10月 14日 大和エコーライオンズクラブより、ＡＥＤ寄贈される
12月 22日 防衛庁補助による水槽付消防ポンプ車(黒消2号車）本署に配置

平成19年　4月　1日 消防長に田村雄二氏就任
4月　1日 職員1名採用総員111名
4月　1日 富谷出張所職員数を増員し、黒川南部の警防態勢を強化
12月　1日 広報車（広報2号車）更新し、本部に配置

平成20年　4月　1日 消防長に佐藤勝志氏就任
4月　1日 職員5名採用総員113名
6月 14日 岩手・宮城内陸地震発生・派遣活動期間9日間・延べ人員52名延べ車両27台

平成21年　4月　1日 機構改革により、消防本部消防課を総務課と警防課に改める
4月　1日 職員3名採用総員113名（出向職員2名除く）
12月 16日 高規格救急車（救急3号車）更新し、本署に配置
12月 25日 消防職員定数「135名」に改正

平成22年　1月 27日 消防本部通信指令室の自動出場指令装置・地図検索装置を部分更新し、出場指令書の伝送装置を新設
4月　1日 消防長に大友司郎氏就任
4月　1日 職員6名採用総員118名（組合出向職員2名除く）

平成23年　1月　7日 消防ポンプ車（黒消1号車）を更新し、大郷出張所に配置
高規格救急車（黒消救急2号車）を更新し、本署に配置
3月 11日 東北地方太平洋沖地震（マグニチュード9.0）の発生に伴い、震災非常配備態勢を発令、消防本部内に警防本部を設置し震災対応（県広域消防相互応援に伴う支援活動・・石巻、塩釜消防本部）
4月　1日 職員7名採用総員123名
11月　9日 東日本大震災に伴う、県内広域消防応援出動により総務大臣褒状受賞

平成24年　4月　1日 職員9名採用総員131名
　　4月　1日 大衡出張所8名増員、救急2号車を配置し救急業務開始
　　4月　1日 富谷出張所3名増員し、黒川南部の警防態勢を強化
　　4月 27日 大衡出張所増築及び改修工事完了
　　8月　9日 資材搬送車（黒消積載2）を更新し、大郷出張所に配置

平成25年　3月　4日 全国共済農業協同組合連合会宮城県本部より高規格救急車1台寄贈される
　　4月　1日 消防長に大友秀也氏就任
　　4月　1日 職員9名採用総員135名
　　4月　1日 高機能消防指令センター運用開始
　　4月　1日 消防救急無線施設・設備（デジタル方式）運用開始
　　10月 17日 黒川消防が訓練指導に当たった大和町女性消防操法隊が第21回全国大会において優勝し、日本一となる

平成26年　3月 14日 本部庁舎西側を整備、新たに屋内貯蔵所を設置
　　3月 25日 本部庁舎耐震補強工事完了
　　4月　1日 消防長に恵津春芳氏就任
　　4月　1日 職員8名採用総員135名

平成27年　3月　1日 化学車（大衡化学1号車）を更新し、大衡出張所に配置
　　3月　3日 本部庁舎西側に会議室建設
　　4月　1日 職員5名採用総員135名
　　7月　1日 指令車（黒消指令1号車）を更新し、本部に配置
　　9月 11日 平成27年9月関東・東北豪雨により、県内に「大雨特別警報」が発令され消防本部内に警防本部を設置し、水害対策にあたる
　　11月 25日 一般財団法人救急振興財団より救急普及啓発広報車1台寄贈される
　　12月 22日 仙台市消防局より高規格救急車両譲渡、本署に配置

平成28年　2月　3日 指令車（黒消指令1号車）を更新し、本部に配置
　　3月　7日 水槽付きポンプ自動車（黒消タンク2号車）を更新し、大衡出張所に配置
　　3月　7日 化学車（大衡化学1号車）を黒川消防署に配置
　　3月 23日 連絡車（黒消連絡2号車）を更新し、本部に配置
　　4月　1日 消防長に千葉清氏就任
　　4月　1日 消防職員定数「145名」に改正
　　4月　1日 職員7名採用総員140名
　　4月　1日 高規格救急車両を更新し、富谷出張所に配置
　　4月　1日 富谷出張所3名増員、救急車2台運用開始
　　7月 15日 大郷搬送1号車を更新し、大郷出張所に配置
　　8月 31日 平成28年台風第10号により、9月9日まで岩手県へ緊急消防援助隊派遣
　　10月　1日 黒川消防署富谷出張所が昇格し、富谷消防署開署
　　10月 10日 富谷町が市制移行し、富谷市となる
　　11月　1日 黒消連絡1号車を更新し、本部に配置

平成29年　1月 23日 株式会社タガ・アート、浜ロウレタン株式会社より水難救助用ボートの無償貸与を受け、富谷消防署に配置
　　2月　8日 平成28年台風第10号に伴う緊急消防援助隊派遣により、消防庁長官賞状授与
　　2月 22日 一般社団法人日本損害保険協会より高規格救急車両1台寄贈される
　　4月　1日 職員6名採用総員145名
　　4月　1日 富谷消防署6名増員、救急隊2隊を専従化
　　9月　1日 富谷消防署に富谷指揮1号車を新規配置し運用開始

平成30年　3月 31日 水槽付きポンプ自動車（富谷タンク1号車）を更新し、富谷消防署に配置
　　4月　1日 消防長に坪子一夫氏就任
　　4月　1日 職員7名採用総員145名
　　7月 23日 災害時における消防用水等の確保に関する協定を関係機関と締結
　　9月　6日 北海道胆振東部地震により、9月11日まで北海道へ緊急消防援助隊派遣
　　10月 31日 富谷消防署に車庫ガレージ建設

平成31年　2月　5日 北海道胆振東部地震に伴う緊急消防援助隊派遣により、消防庁長官賞状授与
　　4月　1日 消防長に佐藤喜好氏就任
　　4月　1日 職員6名採用総員145名
　　4月　1日 大型水槽車（富谷水槽1号車）を更新し、富谷消防署に配置

２．消 防 本 部 ・ 署 所 の 概 要

消防本部・黒川消防署（併設）

所 在 地　黒川郡大和町吉田字
北谷地12番地

竣工年月日　昭48.3.31

構　　造　鉄筋コンクリート

延べ面積　1,206.68㎡

TEL　022-345-4161
FAX　022-345-0012

黒川消防署大郷出張所

所 在 地　黒川郡大郷町中村字
東要害11番地の6

竣工年月日　平15.3.30

構　　造　鉄筋コンクリート

延べ面積　895.36㎡

TEL　022-359-3150
FAX　022-359-3197

黒川消防署大衡出張所

所 在 地　黒川郡大衡村大衡字
一本木21番地20

竣工年月日　平7.3.28

増築年月日　平24.4.27

構　　造　鉄筋コンクリート

延べ面積　692.95㎡（41.27増築）

TEL　022-345-0900（FAX兼用）

富 谷 消 防 署

所 在 地　富谷市富ケ丘一丁目
20番1号

竣工年月日　平10.3.30

構　　造　鉄筋コンクリート

延べ面積　887.01㎡

TEL　022-358-5474
022-358-5485（FAX）

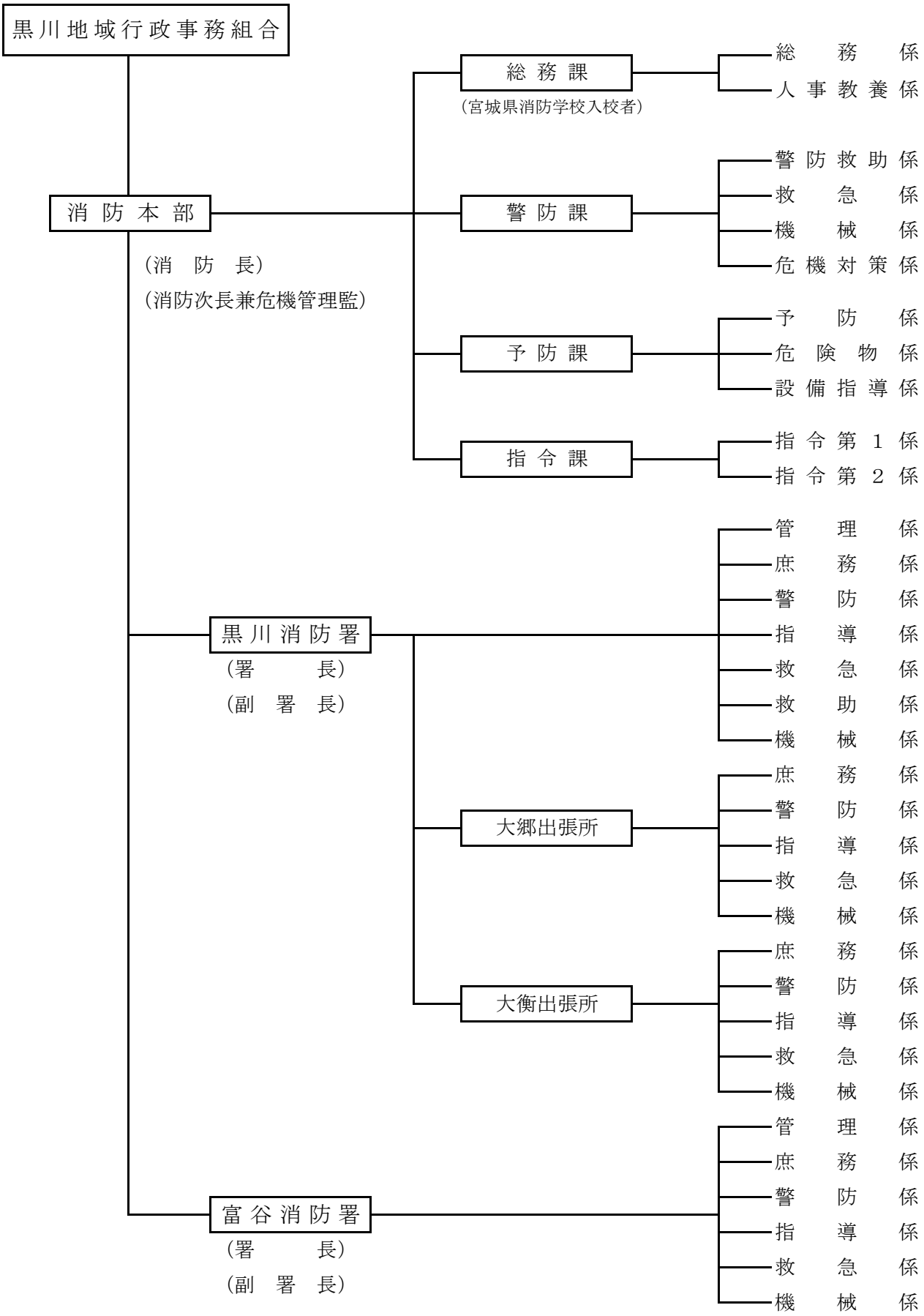
３．平成３１年度消防予算（当初）

（単位：千円）

款・項・目	節	当初予算額		比較増減費
		平成31年度	平成30年度	
5款．消防費		1,231,916	1,408,350	△ 176,434
1項．消防費		1,231,916	1,408,350	△ 176,434
1目．常備消防費		1,125,087	1,133,044	△ 7,957
	2．給料	458,955	461,917	△ 2,962
	3．職員手当等	402,324	398,817	3,507
	4．共済費	164,109	167,051	△ 2,942
	8．報償費	29	29	0
	9．旅費	4,605	4,252	353
	10．交際費	50	50	0
	11．需用費	36,948	36,513	435
	12．役務費	17,307	17,034	273
	13．委託料	3,471	3,685	△ 214
	14．使用料及び賃借料	2,817	2,565	252
	15．工事請負費	13,981	21,552	△ 7,571
	16．原材料費	150	150	0
	18．備品購入費	11,708	10,550	1,158
	19．負担金補助及び交付金	8,633	8,837	△ 204
	23．償還金利子及び割引料	0	42	△ 42
2目．消防施設費		106,829	275,306	△ 168,477
	11．需用費	14,992	19,940	△ 4,948
	12．役務費	1,610	1,649	△ 39
	13．委託料	37,940	40,417	△ 2,477
	14．使用料	6,240	6,390	△ 150
	18．備品購入費	45,400	60,640	△ 15,240
	23．償還金	0	145,320	△ 145,320
	27．公課費	647	950	△ 303

４．組織機構

平成31年4月1日現在



５．消防力の現勢

（１）　人　　員

消防職員・所属・階級別職員数　　平成31年4月1日現在

区分	合計	消防吏員								消防吏員以外の職員
		小計	消防監	司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
消防本部	31	31	1	5	8	5	3	2	7	
黒川消防署	39	39		1	9	7	7	8	7	
大郷出張所	19	19		1	4	5	1	4	4	
大衡出張所	19	19		1	3	5	2	4	4	
富谷消防署	37	37		2	6	6	5	10	8	
小計	114	114		5	22	23	15	26	23	
合計	145	145	1	10	30	28	18	28	30	

（２）　消防車両　　２８台

消防本部

５台
- 指令車　1
- 広報車　1
- 連絡車　2
- 救急普及啓発広報車　1

富谷消防署

７台
- 指揮車　1
- ポンプ車　1
- 水槽付ポンプ車　1
- 大型水槽車　1
- 高規格救急車　2
- 連絡車　1

黒川消防署

９台
- 指揮車　1
- ポンプ車　1
- 水槽付ポンプ車　1
- 化学車　1
- 救助工作車　1
- 高規格救急車　1
- 救急指導車　1
- 資材搬送車　2

大郷出張所

４台
- ポンプ車　1
- 高規格救急車　1
- 資材搬送車　1
- 連絡車　1

大衡出張所

３台
- 水槽付ポンプ車　1
- 高規格救急車　1
- 連絡車　1

６．消防力の整備指針と現有消防力との比較

平成31年4月1日現在

区　　分	指針消防力	現有消防力	過　不　足	充　足　率
署　所　の　数	5	4	△ 1	80.0
ポ　ン　プ　車	8	6	△ 2	75.0
化　学　車	1	1	0	100.0
は　し　ご　車	1	0	△ 1	0.0
救　助　工　作　車	1	1	0	100.0
救　急　車	6	5	△ 1	83.3
人　員	273	145	△ 128	53.1

７．消防職員の年齢構成

平成31年4月1日現在

区　　分	計	消防吏員							消防吏員以外の職員
		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
人　員	145	1	10	30	28	18	28	30	
平　均　年　齢	34.6	58.0	57.2	46.1	39.3	30.2	25.6	21.5	
18　歳　～　25　歳	43						14	29	
26　歳　～　30　歳	26					11	14	1	
31　歳　～　35　歳	13				6	7			
36　歳　～　40　歳	10				10				
41　歳　～　45　歳	32			21	11				
46　歳　～　50　歳	4			3	1				
51　歳　～　55　歳	5		1	4					
56　歳　～　60　歳	12	1	9	2					

８．消防職員の勤続年数

平成31年4月1日現在

区分	計	消防吏員							消防吏員以外の職員
		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
人員	145	1	10	30	28	18	28	30	
平均勤続年数	15.3	40.0	39.2	27.6	19.5	9.7	6.5	1.9	
５年未満	30							30	
５年以上 １０年未満	38					10	28		
１０年以上 １５年未満	11				4	7			
１５年以上 ２０年未満	10				9	1			
２０年以上 ２５年未満	17			6	11				
２５年以上 ３０年未満	22			18	4				
３０年以上 ３５年未満									
３５年以上 ４０年未満	11		6	5					
４０年以上	6	1	4	1					

９．　消防職員の定数・現員数及び配置状況

平成31年4月1日現在

区分		計	消防吏員							消防吏員以外の職員
			消防監	司令長	司令	司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
定数		145	1	11	133					
現員数		145	1	10	30	28	18	28	30	
消防本部計		31 (7)	1	5	8	5 (1)	3	2	7 (6)	
消防本部	消防長	1	1							
	次長・危機管理監	1		1						
	総務課	11 (7)		1	1	1 (1)	1	1	6 (6)	
	警防課	4		1	2	1				
	予防課	5		1	3	1				
	指令課	9		1	2	2	2	1	1	
消防署計		114		5	22	23	15	26	23	
消防署	黒川消防署	39		1	9	7	7	8	7	
	大郷出張所	19		1	4	5	1	4	4	
	大衡出張所	19		1	3	5	2	4	4	
	富谷消防署	37		2	6	6	5	10	8	

※（　）内は、宮城県消防学校初任総合教育入校・宮城県派遣

10. 消防職員技術資格状況

平成31年4月1日現在

階級別 / 免許・資格種類		計	消防吏員						
			消防監	司令	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
救急救命士		33		3	10	10	8	2	
大型自動車（各種）		80		7	25	24	10	12	2
中型自動車（各種）		44	1	3	5	4	8	16	7
普通自動車（各種）		21							21
大型特殊自動車（各種）		10		1	4	4		1	
けん引（各種）		6		1	3	2			
自動二輪車（各種）		63	1	5	17	15	8	11	6
危険物取扱者	甲種	1				1			
	乙種	122		1	26	25	18	28	24
	丙種	15	1	9	5				
消防設備士（各種）		10	1	2	4	1	1	1	
陸上特殊無線技士（各級）		131	1	7	26	27	18	28	24
ボイラー技士		2		1	1				
防災士		4		1	2	1			
毒劇物取扱者		2		2					
小型船舶操縦士(2級以上)		19		1	4	7	2	5	
小型移動式クレーン		43		4	17	10	4	8	
玉掛け		43		4	17	10	4	8	
ガス溶接		9			5	1	1	1	1
アーク溶接		5			1	2		1	1
MCLS		12		1	3	5	2	1	
JPTEC		59		3	14	16	12	13	1
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者		7			2	4			1
酸素欠乏・硫化水素危険作業特別講習		4			4				
第一種衛生管理者		5	1	1	2	1			
潜水士		5			2	2		1	
予防技術資格(検定合格者含む)		40	1	3	10	11	4	11	

※ 各種免許種類にあっては資格数

11. 消防職員の学校教育派遣状況

			30年度	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度	累計
消防大学校	総合教育	幹部科							1	1			2
		上級幹部科											0
	専科教育	警防科		1			1					1	3
		救助科											0
		救急科											0
		予防科				1							1
		危険物科									1		1
		火災調査科	1		1								2
	実務講習	緊急消防援助隊教育課											0
		危機管理・防災教育課											0
宮城県消防学校	初任総合教育		7	5	7	5	8	9	9	7	6	3	66
	専科教育	救急科											0
		警防科	2		2		2		2			2	10
		特殊災害科		2		2			2				6
		予防査察	2	2		2	2				2		10
		危険物科	2		2		2				2		8
		火災調査科	2	2	2	2		2			2		12
	幹部教育	初級幹部科	2		2	2	2		2			1	11
		中級幹部科		2		2		2			2		8
		上級幹部科		1		1			1			1	4
	特別教育	気管挿管講習									3	2	5
		薬剤投与講習									2	2	4
		救急救命士再教育講習	1	1	1	1	1	2	2				9
		救急救命士処置拡大講習	2	4	4	4	1						15
		救急隊員再教育講習											0
		救助隊長教育講習			1								1
		救助隊員再教育講習	1	1									2
		指揮隊長教育講習		1	1	1							3
		消防業務ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ講習											0
救急救命東京研修所			2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	17
救急救命九州研修所		薬剤投与追加講習									1	1	2
		指導救命士養成研修					1						1